

株式会社Wakka Japan

札幌市産業振興センターのインキュベーション施設「スタートアップ・プロジェクトルーム」(以下SPR)に現在入居中の株式会社Wakka Japanの代表取締役 出口友洋さんに現在の状況を伺いました。



株式会社Wakka Japan

代表取締役 出口友洋さん (写真左)

Q 起業の動機について教えてください。

A 日本が誇る「日本産米」を海外に広め、正しい日本食文化普及に貢献すること、海外に居住する日本人を応援すべく故郷の味である日本のお米を適正価格で沢山食べてもらうことを実現すべく、海外法人を含む4番目の拠点として供給基地である日本法人を設立しました。



Q SPRに入居するきっかけを教えてください。

A 行政からの支援を受けやすく、且つよりローコストでハイパフォーマンスのオフィスを探していたところ、SPRの存在を知り、入居を申し込みました。

Q 入居した部屋の印象はいかがですか？

A 現在2名でCルームを利用させていただいているのですが、ちょうどいい広さだと思います。ゴミ収集や掃除も行っていただけなので、非常にきれいなオフィスだと思います。

Q 事業を成長させるために工夫した事を教えてください。

A さっぽろ産業振興財団の方には貿易手続きについてアドバイスをいただきました。
またメディアの取材時に1FのICCスペースを利用していました。

Q 入居中、何か印象的なことはありますか？

A 「きれいな施設ですね」と言われることが多かったと思います。
札幌市産業振興センターで行われる色々な勉強会のご案内もたくさんいただくことができます。

Q 役立った公的支援制度について教えてください。

A 現時点ではうまくマッチする支援制度の活用はできていないのですが、市の「輸出仕様食品製造支援事業」に採択をしていただきました。

Q 今後の抱負について教えてください

A 日本産米専門店として、日本拠点を軸に今後も拠点の拡大や、生産への参入、また既存拠点でのクロスセールスなどを実施し事業拡大を図っていきたいと思います。

SPRへの入居を検討されている方にメッセージをいただきました。

こちらの施設は、色々な経営相談やサポートを受けることができます。クリエイティブな方々や様々な経歴を持った専門家が近くにいてくださいますので、気軽に相談できるとことも魅力の一つだと思います。限られた入居期間の中、時間を最大限有効に使って各方面への人脈構築をしていただけたらと思います。

株式会社Wakka Japan

主に北海道産をメインとした「玄米」の輸出を手掛ける。
輸出先は海外グループ会社で、海外では玄米を「精米」し飲食店や個人のお客様に販売。
新たな進出国の研究や検討、グループ企業の統括を行い、グループの中核を担っている。また2017年には農業参入（長野県）を行う予定。